

株主・投資家の皆さまへ

# Business Review

第199期【中間】2007.02.01—2007.07.31



ESTABLISHED IN 1869  
**M MARUZEN**  
証券コード 8236

# 株主の皆様へ

## ごあいさつ

皆様には平素よりお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

当社第199期上半期の営業概況がまとまりましたのでご案内申し上げます。



代表取締役社長  
小 城 武 彦

まず本年1月に発表しました不適切会計処理の問題につきましては皆様に多大なご心配、ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。当社では当上半期において、外部の専門家を交じて本件に関する緊急対応を行いました。今後は、当該事業部門だけでなく、全社で継続して再発防止の取り組みを徹底して行うこととお約束いたします。

また、当社では本年9月1日に別掲の新経営理念を制定いたしました。

経営理念の制定に際しては、全従業員に対するアンケート調査を行い、全役員が3,005枚のアンケートに目を通した上で、従業員の代表者によるディスカッション、経営陣全員によるディスカッションを約4ヶ月に亘って行い策定したものです。今後はこの経営理念を

全従業員で共有し、この理念を基盤とした経営を進めてまいります。

当社では、本年3月9日に日本橋店の再オープン、8月3日の大日本印刷株式会社との業務・資本提携契約締結、さらに8月28日にはこれまでの当社インターネットショッピングサイトを一新したAmazon.co.jpとの共同による「丸善オンラインストア」の立ち上げなど、下半期以降中長期に亘って経営の重要な要素となる施策を実行いたしました。

また当社では、新しい経営体制における事業戦略を知的資本経営の手法に基づいて策定中です。これをベースに来期からの3か年中期事業計画を策定し、本年12月ごろに発表の予定ですので、引き続き皆様のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 丸善経営理念

### ■丸善の価値観

知に生き、人間を信じる

創業以来、丸善は「知」にかかわることを選択し、知とは何かを問い続けてきました。それは、私たちの生き方そのものです。知を問い続けることは、人間をみつめ、理解しようとする事。人間ほど未知数な存在はありません。とてつもない可能性があります。そんな人間を信じるから、私たちはいます。

### ■丸善ミツシヨ

知を鍛す丸善

丸善が考える「知」とは、世界、人間、物事の本質を知ること。そして、人間がより人間らしく生きるための共通する営みです。「知を鍛す」には「時代にそくした最良の知を人の心と、その道程の先に鍛す」という丸善の使命がこめられています。

### ■行動規範

- 1 本質、本筋、本物を読み。知性は姿に現れる。
- 2 現場、現実、現物に迫れ。お客様は目の前にいる。
- 3 感謝と笑顔を忘れない。どれだけ人を思いやれるか。
- 4 挑戦者たれ。人のためにも拓くべき未来がある。
- 5 あたり前の作法を全力で行え。気品が人をつくる。
- 6 正直に。透明に。自信をもって清潔に生きる。
- 7 強き精神でやり切れ。誇りある自分を築く。

### ■丸善ビジョン

もう一度、丸善になる

最高の丸善を、もう一度実現することをめざします。時代の逆行や懐古ではなく、丸善本来の先取の精神やグローバルな視座、お客様との信頼関係を誇りをもち、新たな丸善になろうとする私たちの宣言です。



## 営業概況のご報告

当上半期の当社の事業部門別の取り組みと業績の概要につきましては次のとおりです。

なお、各事業部門の売上高については9ページをご参照ください。

教育・学術事業においては、不適切会計処理の再発防止を最重要課題として取り組み、まず緊急的に当該不適切会計処理の発生した設備・工事関連部門のマニュアルを抜本的に見直しました。社内の法務、経理、事業計画立案部門の担当者の参加はもちろん、不正リスクマネジメントに関する外部の専門家のアドバイスもおおげ、関係業務フローを全て再点検し当該業務にかかわる業務フローチャートと業務記述書(業務マニュアル)をあらたに作成しました。これらの内容については現在まで数度に亘る関係者説明会を開催し、その徹底を図るとともに、細部の見直しについて継続的に検証を行っております。

教育・学術市場では、各大学、短大における大学改革、教育改革が急速に進展しております。これら改革への取り組みに対し、当社では本年5月に本部組織の機能強化を目的とした組織再編を行い、ワンストップでのソリューションのご提供が可能となりました。大学、短大のお客様に、魅力ある大学作りのための学部・学科の新增設、より幅広い学生を確保するための入試改革や教育の質の向上、教職員の教育研修などをテーマとして、より充実したソリューションメニューをご提供しております。また、当上半期も全国主要都市で「大学経営力強化を実現するセミナー」を開催し、多くの大学関係者の方にご来場いただき、当社の今後のソリューション事業の展開についてご理解を賜

るとともに、多くの貴重なご意見やご要望をいただきました。

今後とも教育や学術に関するコンテンツとソリューションの提供をコアとする事業の成長を図ってまいります。

店舗事業においては、日本橋店を本年3月9日に再オープン(※5ページご参照)しました。お客様からは“おかえりなさい”の声で迎えていただき、創業翌年の明治3年の開店以来、137年に亘る日本橋の地での歴史に、あらたな1ページを刻みました。昨年開店したラゾーナ川崎店は地域のお客様のニーズをしっかりと受けとめ、専門書を中心に売上を伸長させました。書店業界全体では厳しい商環境にありますが、丸の内本店をはじめとする既存店舗につきましては、概ね堅調な売上を維持することができました。

また、本年8月28日にはAmazon.co.jpと共同で運営する「丸善オンラインストア」を立ち上げ、これまでの当社のインターネットショッピングサイトを一新しました(※4ページご参照)。同時に、「丸善オンラインストア」にリンクする、当社のブロの書店員がお薦めする書籍や当社店舗情報、さらには人気作家のインタビューなどをご案内する「丸善インフォメーションサイト」を立ち上げました。これにより、今後はAmazon.co.jpの利便性ととも、当社がリアル店舗でお客様へご提案している丸善ならではの“おもてなし”をネット上でも実現させました。

出版事業では、新刊の大型タイトルが例年に比べて少なく、またこれまで以上に企画段階での検証を厳格に行ったことから、売上は前年を下回る結果となりました。出版業界全体は引き

続き厳しい状況にございますが、当社では教育・学術市場での当社営業ネットワークとの連携をさらに推進させるとともに、読者マーケティングに基づいた企画の強化や、コンテンツの電子化などを進め、読者ニーズへの一層の対応を図ってまいります。

店舗内装事業及びその他事業では、競業各社の低価格攻勢に対し、当社はおお客様の店舗の立地環境分析や、各業種の市場動向調査に基づいたデザイン提案やコンサルティングでお客様から信頼と支持をいただき、当上半期の業績は引き続き順調に推移しました。今後も、書店をはじめとするお客様の店舗経営に貢献できるベストパートナーとなることを目標に、事業展開を進めてまいります。

なお、当上半期業績の詳細につきましては、6ページ以降の財務諸表をご参照ください。



# 大日本印刷株式会社と業務・資本提携

当社は本年7月12日に東証アローズにおいて、大日本印刷株式会社（以下、「大日本印刷」）との業務・資本提携の基本合意を発表し、8月3日に最終合意に達しました。今後は



●大日本印刷株式会社の  
高波光一代表取締役副社長(右)と  
丸善株式会社の代表取締役社長 小城武彦(左)

教育・学術事業、店舗事業、出版事業など丸善の全事業に亘って協業体制を構築してまいります。また、この業務提携とあわせ、8月10日付で大日本印刷は、大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社が保有する当社優先株式7種の内、44,480株(※10ページ注記ご参照)を譲受しています。

138年間書籍を通じて「知」をご提供してきた丸善と、130年間出版印刷事業から様々な事業・技術を発展させてきた大日本印刷は、共に日本の活字文化に貢献してまいりました。この両社の業務提携は、双方の事業面で相乗効果が高いばかりでなく、当社のお客様へ



●共同記者発表会場の様子

さらに付加価値のあるソリューションの提案を実現できるなど、その可能性の拡がりは大いいものと考えております。9月4日には大日本印刷から業務提携推進執行役員を迎え、中長期的な視点から当社の全事業の提携内容の具体化を加速してまいります。

## 生まれ変わって「丸善オンラインストア」!

本年8月28日から丸善とAmazon.co.jpが共同で運営する「丸善オンラインストア」のサービスを開始しました。現在Amazon.co.jpのサイトで取扱っている1,000万タイトルを超える商品群に加え、丸善が自信を持ってセレクトした「丸善セレクション」と銘打ったカテゴリをご用意しました。和書はもちろんのこと洋書、CD、DVD、ビデオ、PCソフトウェア、丸善の元祖「早矢仕(ハヤシ)ライズ」を含む「新厨房楽」シリーズ、高級書齋

文具「森林楽」シリーズなど多種多様な商品は選ぶ楽しさが二倍、三倍になりました。また、丸善のリアル店舗の様々な情報をご



●「丸善オンラインストア」 <http://www.maruzen.jp>  
●「丸善インフォメーション」 <http://www.maruzen.co.jp/shopinfo/>

提供する「丸善インフォメーション」も同時にオープン。「丸善のおすすめ商品」、丸善の書店員がプロの眼で選んだおすすめの商品書籍をご案内する「ブックアドバイザー通信」、著名な作家やアーティストに丸善との関わりや作品への想いなどを語っていただく「ゲストルーム」などお役立ち情報も満載です。なお、「丸善インターネットショッピング」の名称でご利用いただいておりますオンラインショッピングは、「丸善オンラインストア」のサービス開始と同時に終了いたしました。

## 日本橋店OPEN!

本年3月9日、丸善の核店舗として明治3年より日本橋において営業を続けてきた「丸善・日本橋店」が再びオープンしました。新生「日本橋店」のコンセプトは「The First



●新生「日本橋店」(地下1階～3階)

MARUZEN」。日本全国の丸善店舗の中心としてその役割を果たしてきた旗鑑店に相応しい装いで、伝統と新しさを融合させた多くの日本橋店ファンの皆様のご要望にお応えできる店舗です。

グランドオープンの前日3月8日にお取引先様とマスコミ各社をお招きしてプレオープンし、翌日も好天に恵まれる中、開店を待ち望んで列を作られたお客様を前にグランドオープンしました。

開店に際しては、記念のオリジナル万年筆・ボールペンの発売、著名作家の記念サイン会を開催したほか、向かいの高島屋との共同企画による抽選会も話題を呼びました。記念品として用意したバラの切花10,000本も大変好評を博しました。

書籍フロアは、一般書から専門書、洋書ま

で幅広く展開し、旧店舗では取扱っていなかったコミックや学習参考書まで網羅した総合書店に生まれ変わり、文具フロアは、高級筆記具をはじめ厳選したセレクション雑貨やオリジナル商品などを取り揃えています。



●バラの切花のプレゼント風景

## 丸善が企画に参加した新万年筆登場!

本年7月27日に、400年の伝統を持つ有田焼と匠の技が光るセーラー万年筆の技術を融合させた「有田焼万年筆」を他社に先駆けて発売しました。硬く、白く、澄んだ透明感を



持つ磁器製の軸は、今までの万年筆とはまた違う、しっとりとした重厚感があります。

明治18年に万年筆を日本で初めて輸入して以来、作家や知識人をはじめとして多くのお客様に提供してきた丸善の企画で

実現した当万年筆は、新しい軸材の万年筆として世界で脚光を浴びる可能性を充分に秘めています。

伝統工芸の枠を越えて誕生した「有田焼万年筆」は、筆記具としてだけでなく芸術品としても価値ある逸品です。

●香蘭社(左) / 157,500円(本体価格150,000円)

●源右衛門堂(右) / 262,500円(本体価格250,000円)



## 連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第199期中間 平成19年7月31日現在	第198期中間 平成18年7月31日現在
(資産の部)		
流動資産	31,054	32,576
現金及び預金	6,486	7,961
受取手形及び売掛金	10,502	11,858
その他	14,085	12,790
貸倒引当金	△ 20	△ 34
固定資産	10,391	11,391
有形固定資産	4,419	4,686
建物及び構築物	2,843	2,843
土地	1,344	1,613
その他	230	228
無形固定資産	540	309
投資その他の資産	5,432	6,395
投資有価証券	978	2,147
その他	8,198	8,014
貸倒引当金	△ 3,743	△ 3,766
資産合計	41,445	43,967
(負債の部)		
流動負債	28,649	29,328
支払手形及び買掛金	12,903	12,391
短期借入金	12,500	13,891
未払法人税等	82	81
その他	3,162	2,965
固定負債	3,456	8,651
長期借入金	—	4,868
退職給付引当金	2,580	2,463
役員退職慰労引当金	7	5
その他	868	1,313
負債合計	32,105	37,980
(純資産の部)		
株主資本	9,222	5,819
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	3,092	4,134
利益剰余金	4,189	△ 261
自己株式	△ 59	△ 52
評価・換算差額等	117	166
その他有価証券評価差額金	117	166
純資産合計	9,339	5,986
負債純資産合計	41,445	43,967

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第199期中間 平成19年2月 1日から 平成19年7月31日まで		第198期中間 平成18年2月 1日から 平成18年7月31日まで	
売上高	54,256		52,660	
売上原価	42,309		41,033	
売上総利益	11,946		11,627	
販売費及び一般管理費	11,378		10,990	
営業利益	568		636	
営業外収益	246		218	
営業外費用	199		193	
経常利益	615		661	
特別利益	867		273	
特別損失	116		126	
税金等調整前中間純利益	1,366		807	
法人税、住民税及び事業税	38		30	
法人税等調整額	64		0	
中間純利益	1,263		776	

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第199期中間 平成19年2月 1日から 平成19年7月31日まで		第198期中間 平成18年2月 1日から 平成18年7月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,647		4,582	
投資活動によるキャッシュ・フロー	406		1,040	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,215		△ 6,254	
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,161		△ 601	
現金及び現金同等物の期首残高	7,647		8,562	
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,486		7,961	

## 中間連結株主資本等変動計算書

(当中間連結会計期間 平成19年2月1日から平成19年7月31日まで)

(単位：百万円)

科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年1月31日残高	2,000	4,134	2,926	△ 55	9,005	174	174	9,179
中間連結会計期間中の変動額								
中間純利益			1,263		1,263			1,263
自己株式の取得				△1,045	△1,045			△1,045
自己株式の処分		△1,042		1,042	—			—
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)						△ 57	△ 57	△ 57
中間連結会計期間中の変動額合計		△1,042	1,263	△ 3	217	△ 57	△ 57	160
平成19年7月31日残高	2,000	3,092	4,189	△ 59	9,222	117	117	9,339



# 単体財務諸表

## 中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第199期中間 平成19年7月31日現在	第198期中間 平成18年7月31日現在
(資産の部)		
流動資産	30,433	31,929
固定資産	31,458	32,687
資産合計	61,892	64,616
(負債の部)		
流動負債	28,361	28,722
固定負債	23,405	29,063
負債合計	51,767	57,785
(純資産の部)		
株主資本	10,008	6,664
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	3,092	4,134
利益剰余金	4,975	582
自己株式	△59	△52
評価・換算差額等	117	166
その他有価証券評価差額金	117	166
純資産合計	10,125	6,831
負債純資産合計	61,892	64,616

## 中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第199期中間 平成19年2月1日から 平成19年7月31日まで	第198期中間 平成18年2月1日から 平成18年7月31日まで
売上高	53,954	51,866
売上原価	42,362	40,662
売上総利益	11,591	11,204
販売費及び一般管理費	11,122	10,614
営業利益	468	590
営業外収益	159	207
営業外費用	198	176
経常利益	429	621
特別利益	876	122
特別損失	133	130
税引前中間純利益	1,172	612
法人税、住民税及び事業税	38	30
法人税等調整額	64	—
中間純利益	1,070	582

## 中間株主資本等変動計算書

(当中間期会計期間 平成19年2月1日から平成19年7月31日まで)

(単位：百万円)

科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年1月31日残高	2,000	4,134	3,905	△ 55	9,983	174	174	10,158
中間会計期間中の変動額								
中間純利益			1,070		1,070			1,070
自己株式の取得				△1,045	△1,045			△1,045
自己株式の処分		△1,042		1,042	—			—
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)						△ 57	△ 57	△ 57
中間会計期間中の変動額合計		△1,042	1,070	△ 3	24	△ 57	△ 57	△ 32
平成19年7月31日残高	2,000	3,092	4,975	△ 59	10,008	117	117	10,125

## 部門別概況（連結）

### 教育・学術事業



#### ●教育・学術事業本部

- 各種学術情報の提供
- 各種資料のデジタル化
- 図書館業務アウトソーシング
- 各種設備・建築並びに内装業
- 文教市場における学部・学科の改組・転換
- ITソリューションの開発
- 各種セミナー開催

314億27百万円  
57.9%

### 店舗事業



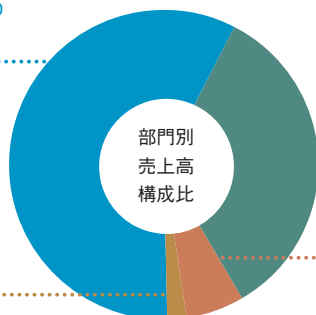
#### ●店舗事業部

- 国内書籍雑誌の販売
- 国外書籍雑誌の輸入販売
- 文具・雑貨の販売
- オリジナル文具の製造、卸、販売

184億35百万円  
34.0%

11億8百万円  
2.0%

32億84百万円  
6.1%



### 出版事業



#### ●出版事業部

- 書籍出版・ビデオの企画開発、製作、販売、卸
- 学協会刊行物、他社版元発行の書籍の販売

### 店舗内装事業及びその他事業



#### ●ショップ・システム・プロデュース事業部

- 各種オリジナル店舗用什器の製造・販売
- 各種店舗の建築・デザイン設計などトータルプランニング
- 建築、内装、外装、照明、看板、空調、什器など各種工事
- 物件開発、立地調査、店舗運営指導、アフターフォロー
- その他
- 不動産賃貸業ほか



# 株式の状況 (平成19年7月31日現在)

## 発行可能株式総数

- 普通株式 299,900,000株
- 第1回A種優先株式 11,120株
- 第1回B種優先株式 11,120株
- 第1回C種優先株式 11,120株
- 第1回D種優先株式 11,120株
- 第1回E種優先株式 7,410株
- 第1回F種優先株式 7,410株
- 第1回G種優先株式 7,410株
- 第1回H種優先株式 7,410株

## 発行済株式の総数

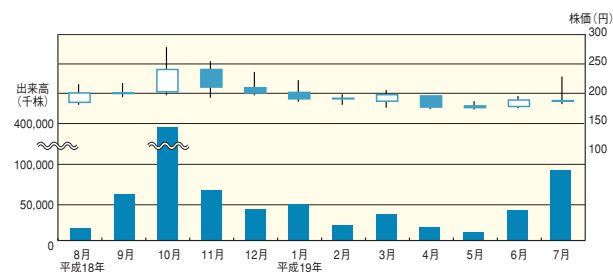
- 普通株式……………108,162,360株 (単元株式数：1,000株)
- 第1回A種優先株式……………11,120株
- 第1回B種優先株式……………11,120株
- 第1回C種優先株式……………11,120株
- 第1回D種優先株式……………11,120株
- 第1回F種優先株式……………7,410株
- 第1回G種優先株式……………7,410株
- 第1回H種優先株式……………7,410株

※第1回E種優先株式7,410株は、平成19年5月31日に当該優先株式に係る取得条項に基き当社が取得し消却いたしました。

## 株主数

- 普通株式……………13,991名
- 第1回A種優先株式……………1名
- 第1回B種優先株式……………1名
- 第1回C種優先株式……………1名
- 第1回D種優先株式……………1名
- 第1回F種優先株式……………1名
- 第1回G種優先株式……………1名
- 第1回H種優先株式……………1名

## 株価及び出来高の推移



## 大株主の状況

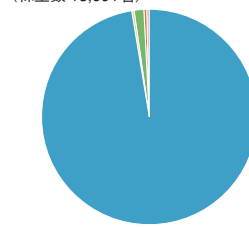
株主名	持株数
<b>【普通株式】</b>	
株式会社トーハン	5,213
株式会社三井住友銀行	5,017
株式会社みずほ銀行	5,015
丸善取引先持株会	2,609
日本証券金融株式会社	2,398
明治安田生命保険相互会社	2,379
三井生命保険株式会社	2,002
日本生命保険相互会社	1,826
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	1,811
川村 裕二	1,810
<b>【優先株式】</b>	
第1回A種優先株式	株
大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社	11,120
第1回B種優先株式	株
大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社	11,120
第1回C種優先株式	株
大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社	11,120
第1回D種優先株式	株
大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社	11,120
第1回F種優先株式	株
大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社	7,410
第1回G種優先株式	株
大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社	7,410
第1回H種優先株式	株
大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社	7,410

※平成19年8月10日付で、大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社は第1回A種、第1回B種、第1回C種、第1回D種の4種類の優先株式、計44,480株を、大日本印刷株式会社へ譲渡しております。

## 株主構成 (普通株式)

### 所有者別株主分布

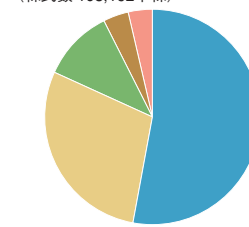
(株主数 13,991名)



● 個人・その他	13,624名	97.38%
● 政府・地方公共団体	1名	0.00%
● 金融機関	49名	0.35%
● その他国内法人	204名	1.46%
● 外国人	60名	0.43%
● 証券会社	53名	0.38%

### 所有者別株式分布

(株式数 108,162千株)



● 個人・その他	57,215千株	52.90%
● 政府・地方公共団体	1千株	0.00%
● 金融機関	31,255千株	28.89%
● その他国内法人	11,636千株	10.76%
● 外国人	4,122千株	3.81%
● 証券会社	3,933千株	3.64%

※個人・その他には保管振替機構名義株式37千株及び自己名義株式242千株を含んでいます。

# 会社の概況 (平成19年7月31日現在)

## 会社の概要

- 商号 丸善株式会社 (Maruzen Company, Limited)
- 本社所在地 東京都中央区日本橋三丁目9番2号
- 創業年月日 明治2年1月1日
- 資本金 2,000,000,000円
- 従業員数 868名
- 営業種目 内外図書・雑誌、文具事務用品、スチール家具・図書館用家具・用品、コンピュータ・OA機器・教育機器教材、洋品・衣料品・雑貨の販売業及び輸出入業／出版業／学術情報提供サービス業／文化・教育催事・学術会議の企画・運営業／文具品・事務機器・教育機器の製造業／建築工事の設計・監理・請負業／不動産の賃貸及び仲介業／通信教育、学校教育事業に関する経営コンサルティング業務／図書館業務の請負及び図書館等の教育施設の運営代行並びに管理業務／模擬学力試験の企画、立案、実施の受託業務 他

連結子会社	丸善システムサービス株式会社 丸善ブックメイツ株式会社 丸善メイツ株式会社 株式会社オルモ 株式会社第一鋼鉄工業所 株式会社丸善トライコム
持分法適用会社	京セラ丸善システムインテグレーション株式会社

## 役員

代表取締役社長	小城 武彦
専務取締役	土岐 勝司
常務取締役	月本 和是
取締役	高橋 健一郎
取締役	作中 正喜
取締役	土方 裕之
取締役	大西 敏彦
取締役	稲川 琢也
常勤監査役	海老原 光彦
常勤監査役	伊藤 茂樹
常勤監査役	石坂 啓
非常勤監査役	高野 角司

当社では、意思決定・監督と執行の分離による取締役会の活性化のため、執行役員制度を導入しております。

執行役員	大熊 章三
執行役員	中村 俊司
執行役員	斉藤 博司
執行役員	鷲本 晴吾
執行役員	壹岐 直也
執行役員	河村 収
執行役員	鯉谷 弘行



## ホームページのご案内

当社ではIR活動の一環としてインターネットによる情報発信の充実に努めております。店舗や社史の紹介を含む企業情報、各事業部門の解説などのIR情報を適時に更新しております。また、当ホームページは平成19年8月28日にリニューアルしました。いろいろな情報がさらに見やすくなりましたので、ぜひご利用ください。

- 会社情報ホームページ <http://www.maruzen.co.jp>
- 丸善オンラインストア <http://www.maruzen.jp>  
丸善とAmazon.co.jpとの共同ブランドストア

※Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。



# 営業ネットワーク (平成19年8月31日現在)

## ■教育・学術事業本部

事業戦略室 .....Tel. (03) 3272-7235  
ソリューションセンター .....Tel. (03) 3273-3572  
デザインセンター .....Tel. (03) 3273-3255  
カスタマーサービスセンター .....Tel. (03) 3272-7244

## ●東日本事業部

東京支店  
東京第一営業部 .....Tel. (03) 3272-7231  
東京第二営業部 .....Tel. (03) 3272-7232  
東京第三営業部 .....Tel. (03) 3272-0364

## 関東支店

千葉営業部 .....Tel. (043) 275-9011  
八王子営業部 .....Tel. (042) 642-3711  
大宮営業部 .....Tel. (048) 641-7221  
神奈川静岡営業部 .....Tel. (045) 827-2571  
筑波営業部 .....Tel. (029) 851-6000

札幌支店 .....Tel. (011) 884-8222  
仙台支店 .....Tel. (022) 222-1133

盛岡営業所 .....Tel. (019) 654-1051

## ●中部事業部

名古屋支店 .....Tel. (052) 261-2262  
岐阜営業所 .....Tel. (058) 273-1601  
金沢支店 .....Tel. (076) 231-3156

## ●西日本事業部

京都支店 .....Tel. (075) 671-3104  
大阪支店 .....Tel. (06) 6251-2622  
神戸支店 .....Tel. (078) 221-3502  
岡山支店 .....Tel. (086) 231-2262  
松山営業所 .....Tel. (089) 941-5279  
広島支店 .....Tel. (082) 247-2252  
福岡支店 .....Tel. (092) 752-7661  
長崎営業所 .....Tel. (095) 843-0355  
熊本営業所 .....Tel. (096) 375-3557  
沖縄出張所 .....Tel. (098) 861-4837

## ■店舗事業部

営業企画室 .....Tel. (03) 3273-6191  
丸の内本店 .....Tel. (03) 5288-8881  
日本橋店 .....Tel. (03) 6214-2001  
お茶の水店 .....Tel. (03) 3295-5581  
地下鉄溜池山王店 .....Tel. (03) 5114-0604  
アークヒルズ店 .....Tel. (03) 3589-1772  
エキュート品川店 .....Tel. (03) 5793-7471  
後楽園メトロ・エム店 .....Tel. (03) 5684-5130  
ルミネ北千住店 .....Tel. (03) 3879-1861  
有明ワンザ店 .....Tel. (03) 5530-5701  
アトレ大森店(文具) .....Tel. (03) 5767-9177

羽田空港店 .....Tel. (03) 6428-8731  
渋谷東急店(文具) .....Tel. (03) 3477-3524  
新宿京王店(文具) .....Tel. (03) 5321-4685  
新宿エステック店 .....Tel. (03) 5322-3511  
府中伊勢丹店(文具) .....Tel. (042) 351-9066  
パビエ田無店(文具) .....Tel. (042) 460-2055  
立川伊勢丹店(文具) .....Tel. (042) 540-7355  
町田モディ店(文具) .....Tel. (042) 790-7591  
ラゾーナ川崎店 .....Tel. (044) 520-1869  
横浜ボルタ店 .....Tel. (045) 453-6811  
平塚店 .....Tel. (0463) 25-3661  
津田沼店 .....Tel. (047) 470-8311  
柏高島屋ステーションモール店(文具) .....Tel. (04) 7147-9836  
舞浜イクスアリー店 .....Tel. (047) 305-5808  
水戸エクセル店(文具) .....Tel. (029) 231-7007  
水戸京成店 .....Tel. (029) 302-5071  
川口そごう店 .....Tel. (048) 259-5258  
川越丸広店(文具) .....Tel. (049) 223-4077  
ら・がぁー新札幌DUO店 .....Tel. (011) 890-2586  
札幌アリオ店 .....Tel. (011) 733-6226  
札幌ビヴォ店 .....Tel. (011) 219-4215  
盛岡川徳店 .....Tel. (019) 223-8844  
仙台アエル店 .....Tel. (022) 264-0151  
仙台141店 .....Tel. (022) 268-8231  
仙台藤崎店(文具) .....Tel. (022) 221-5001  
新静岡センター店 .....Tel. (054) 255-1851  
ら・がぁー浜松メイワン店(文具) .....Tel. (053) 457-4811  
名古屋栄店 .....Tel. (052) 261-2251  
名古屋セントラルパーク店 .....Tel. (052) 971-1231  
名古屋ラシック店(文具) .....Tel. (052) 259-6505  
名古屋松坂屋店 .....Tel. (052) 264-2730  
中部国際空港店 .....Tel. (0569) 38-9020  
関西国際空港店 .....Tel. (072) 456-6486  
なんばOCAT店 .....Tel. (06) 6635-3225  
八尾アリオ店 .....Tel. (072) 990-0291  
岡山シンフォニービル店 .....Tel. (086) 233-4640  
福岡ビル店 .....Tel. (092) 731-9000

## ■ショップ・システム・プロデュース事業部

首都圏営業部 .....Tel. (03) 5298-7291  
北海道営業所 .....Tel. (011) 884-8180  
中部営業所 .....Tel. (052) 261-2259  
関西営業部 .....Tel. (06) 6251-6871  
九州営業所 .....Tel. (092) 752-7691

■出版事業部 .....Tel. (03) 3272-0521

## 株主メモ

決算期 毎年1月31日  
定時株主総会 毎年4月  
単元株式数 1,000株

## 株主名簿管理人

東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

## 同事務取扱所

〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社証券代行部  
☎0120-78-2031

## 同取次所

中央三井信託銀行株式会社全国各支店  
日本証券代行株式会社本店及び全国各支店

## 公告の方法

電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

## <公告掲載URL>

<http://www.maruzen.co.jp/ir/notification.html>

## お知らせ

当社株式に関する事務手続き用紙（お届出の住所・印鑑・姓名等の変更届、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記株主名簿管理人のフリーダイヤル又はホームページで24時間受付しております。

☎0120-87-2031（自動応答）

## ホームページ

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

※証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引のある証券会社にお申し出ください。



ESTABLISHED IN 1869

[本社]

〒103-8244 東京都中央区日本橋3-9-2 第二丸善ビル

※本誌の内容に関するお問合せ先

管理本部 法務・総務部 Tel. (03) 3272-7032



古紙配合率100%再生紙

